

平成29年度



白川小だより

第10号 平成29年12月22日(金)

だれもが輝き 駆け抜けた2学期

学校長 井戸 さえ子

9月の運動会の頃、葉を繁らせた枝々が強い日差しを遮ってくれていたけやきは、もうすっかり葉を落として、枝々の間には青く澄み切った美しい冬空が広がっています。2学期の全校行事は、先日の持久走大会が最後でした。当日は雪曇りのような寒々とした日でしたが、子どもたちは、どの子も力強く走りきってまるで弾むような元気な姿を見せてくれました。練習中から得手不得手にかかわらず、持久走大会へ向かう子どもたちの姿勢が前向きでした。そこには今学期80日ほどのあらゆる取組を経て、どの子にも「努力できる」能力が備わっていることを強く感じました。



～各学年の「できるようになったこと」として～

1年生：初めて覚えた漢字が**使える**ようになった。友達のいいところをたくさん**見つけられる**ようになった。

2年生：全員、九九を**覚える**ことができた。2学期の漢字テストは全員合格できた。

3・4年生：けんかが減って言葉遣いに**気をつける**ことができるようになった。長いお話の本に**挑戦できる**ようになった。

5年生：どの場所でも掃除に熱心に取り組むことができるようになった。いろんな問題を自分の頭で**考える**ようになった。

6年生：仲間同士の呼びかけができるようになった。テストや自分が書いた文章の**見直し**ができるようになった。

あすなろ：自転車に**乗れる**ようになったり、大勢の友達にはきはきと話したりすることができるようになった。

なかよし：クリアチャレンジに取り組み、漢字100文字を正しく**書ける**ようになった。

子どもたちには「できる」ように努力できた「自分」に自信をもってほしいです。計り知れないものは子どもの可能性。新たな希望をもって新しい年が迎えられるように。

地域の皆様、保護者の皆様には、様々な場面で精一杯支えていただきました。誠にありがとうございました。どうぞ良いお年をお迎えください。